

平成28年10月12日

道路局

平成28年度 住民サービス部門 モデル「道の駅」の認定について

～全国各地の「道の駅」の模範となって質的向上に寄与します～

「道の駅」は、平成5年の制度創設以来、現在では全国で1107箇所に広がり、地方創生を具体的に実現していくための極めて有力な手段として、その重要性が高まっています。

国土交通省では、「道の駅」の質的向上に向けた取組として、全国各地の「道の駅」の模範となって質的向上に寄与する“特定テーマ型モデル「道の駅」”を新たに募集したところです。

今般、“住民サービス”をテーマとして募集し、有識者懇談会における審議・選定を経て、認定対象を国土交通省として決定しましたので、以下のとおりお知らせします。

1. 認定結果

○ 平成28年度 住民サービス部門 モデル「道の駅」 認定数 全6箇所

- ・ 両神温泉薬師の湯（埼玉県小鹿野町）
りょうかみ やくし おがのまち
- ・ 桜の郷荘川（岐阜県高山市）
さくら の 郷 荘 川 たかやま
- ・ 美山ふれあい広場（京都府南丹市）
みやま なんたん
- ・ 鯉が窪（岡山県新見市）
こい くぼ にいみ
- ・ 小豆島オリーブ公園（香川県小豆島町）
しょうどしま しょうどしまちょう
- ・ 酒谷（宮崎県日南市）
さかたに にちなん

※認定対象の詳細は別添資料のとおりです。

- 認定された「道の駅」は、全国の「道の駅」からの視察及び講師の要請に対応するなど、「道の駅」の質的向上に貢献する役割を担います。

2. その他

- 後日、認定証を交付する場を開催する予定です（別途お知らせします）。

詳細は以下のホームページにも掲載しています (<http://www.mlit.go.jp/road/Michi-no-Eki/index.html>)

[問い合わせ先]

道路局 国道・防災課

課長補佐 濱谷 健太 (内線 37862)

課長補佐 竹内 勇喜 (内線 37842)

代表：03-5253-8111

直通：03-5253-8492 FAX：03-5253-1620

特定テーマ型モデル「道の駅」の概要

- 地方創生を具体的に実現していくための極めて有力な手段として、「道の駅」の重要性が高まっている。
- 全国各地の「道の駅」の模範となって広く周知することで、質的向上に寄与
- 「道の駅」が有する個々の「機能」が異なる点を踏まえ、模範性を高めるために、テーマ（部門）を設定
- 平成28年度は、テーマ（部門）として“住民サービス”を設定



平成28年度 住民サービス部門 モデル「道の駅」

国土交通大臣認定

中山間地域及び漁村地域等において、高齢化社会に対応した地域福祉向上のための取組、地域課題に対応した住民生活支援のための取組、小さな拠点形成を目指した取組など、公共の福祉を増進することを目的とした地域住民へのサービス向上に資する取組を、現在実施し成果をあげているもの

(認定の流れ)

平成28年度 住民サービス部門
モデル「道の駅」の募集



内容の確認



「道の駅」有識者懇談会での審議・選定



国土交通大臣による認定



認定証授与式

「道の駅」有識者懇談会

委員長：石田 東生 [筑波大学大学院
システム情報工学研究科教授]

楓 千里 [(株)JTBパブリッシング
取締役 法人情報事業部長]

篠原 靖 [跡見学園女子大学
マネジメント学部准教授]

根岸 裕孝 [宮崎大学
地域資源創成学部准教授]

山田 知子 [比治山大学
現代文化学部教授]

(敬称略・五十音順)

平成28年度 住民サービス部門 モデル「道の駅」



平成 28 年度 住民サービス部門 モデル「道の駅」

都道府県	市町村	設置年度	駅名	主な特長
埼玉県	おがのまち 小鹿野町	H11	りょうかみ やくし 両神温泉薬師の湯	町が「道の駅」を地域福祉の拠点として位置付け、高齢者の生きがい作りの取組を展開し、地域住民の交流の場として機能。
岐阜県	たかやま 高山市	H14	さとしょうかわ 桜の郷荘川	まちづくり協議会への積極的な参画・連携により、住民ニーズを踏まえた健康増進の取組を展開し、地域住民の交流の場として機能。
京都府	なんたん 南丹市	H17	みやま 美山ふれあい広場	住民自治組織が中心となり、行政サービスや福祉サービス等の機能・施設を連携させ、総合的な拠点を形成。
岡山県	にいみ 新見市	H9	こい くぼ 鯉が窪	計画から運営まで全てで住民主体を掲げ、行政窓口や診療所等を集約してワンストップサービスを実現した「小さな拠点」を形成。
香川県	しょうどしまちよう 小豆島町	H8	しょうどしま 小豆島オリーブ公園	「道の駅」を福祉施策の中核と位置付け、オリーブ販売等による収益を福祉関連施設の運営に還元することで住民サービスを実現。
宮崎県	にちなん 日南市	H11	さかたに 酒谷	「道の駅」の収益を自治組織に還元し、住民主体で「道の駅」を地域の自治・交流活動の拠点として育て、「小さな自治」を形成。

- 町は早くから保健・医療・福祉に力を入れ、「道の駅」を両神地区の**地域福祉サービスの拠点として位置付け**
- 農林産物直売所での買い物や出品、温泉施設やデイサービスセンターの利用等といった「道の駅」の機能により、**高齢者が集う生きがいづくり・交流の場を形成**
- 併せて「道の駅」にバスターミナルを整備し、谷合の**集落から「道の駅」への高齢者の移動手段を確保**

高齢者の交流・生きがいづくりに資する施設・取組

◇ 農林産物直売所

- ・農林産物を出品する高齢者の生きがいの場となっている
- ・地域のスーパーマーケット代わり



◇ 地域資源活用センター

- ・高齢者が生涯現役で活躍するための就業環境づくり等を目的とした体験交流施設（約11,000人/年の利用）



◇ 温泉活用施設

- ・会話を楽しむ等、高齢者等地域住民のサロンとなっている。（約74,000人/年の利用）



◇ 高齢者生活福祉センター

- ・デイサービスセンター（約20人/日の利用）
- ・生活支援ハウス（冬期等の一次滞在）



埼玉県



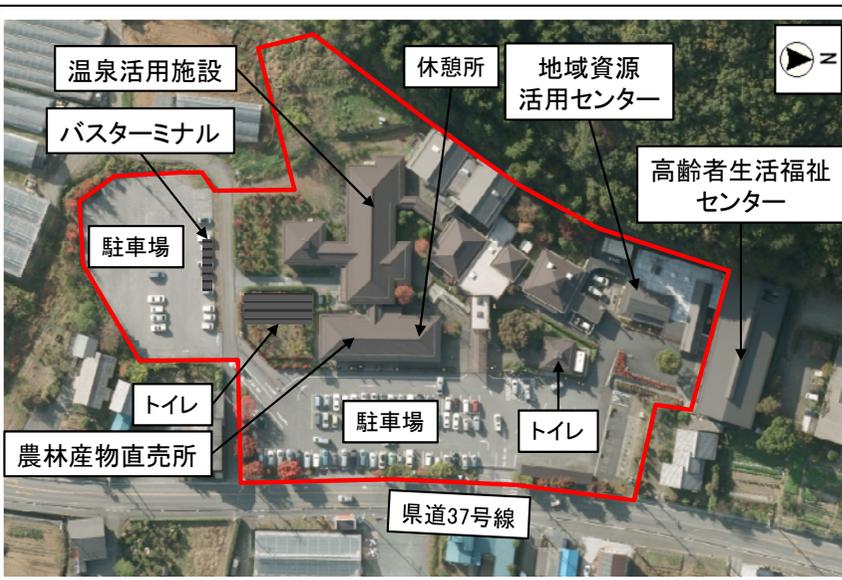
小鹿野町

道の駅
「両神温泉薬師の湯」
埼玉県小鹿野町

人口 約13千人
面積 約171km²



道の駅
「両神温泉薬師の湯」



高齢者の移動手段の確保

◇ バスターミナル

- ・交通手段を持たない高齢者の「道の駅」での温泉入浴・直売所での買い物等の貴重な移動手段となっている。



- 温泉施設や屋内運動場を活用した住民密着型の取組により、住民の憩いの場、交流の場として機能。
- 温泉施設利用者への無料送迎サービス、屋内運動場でのスポーツフェスティバルの開催等、**地域住民の健康増進に資する様々な取組**を実施。
- 「道の駅」が地区の**まちづくり協議会へ積極的に参画・連携**し、住民ニーズを踏まえた取組を展開することで、**地域住民の交流の場を形成**。



道の駅「桜の郷荘川」
岐阜県高山市
人口 約92.7千人
面積 約2,177.7km²



健康増進に資する取組の実施

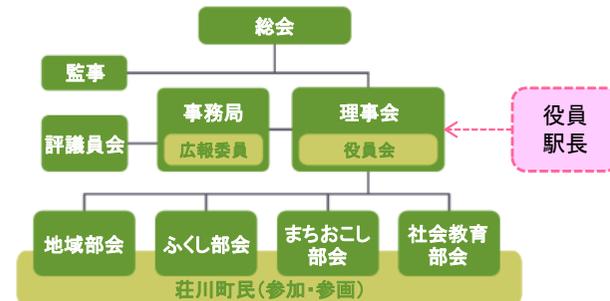
◇地元高齢者など荘川地区の住民に対し、温泉施設へ無料送迎を実施。
(平均 約67人/月 利用)



無料送迎サービス

地区のまちづくり協議会との連携

◇駅長が荘川地区まちづくり協議会に積極的に参画し、道の駅との連携を深め、取組全般に渡りマネージメント



荘川地区まちづくり協議会



◇屋内運動場を活用した、地域住民の健康増進の取組を開催。
(平均 約8回/月 約170人/月 利用)



荘川町シルバースポーツフェスティバル



チャリティイベントを道の駅食堂で開催

- 住民生活を支えるため、住民出資で会社を設立し、既存施設を活用して日用品販売の継続を実現。
- 行政関係施設に加え、福祉施設（診療所、保健福祉センター、高齢者コミュニティセンター）や住民サービス施設（日用品販売施設「ふらっと美山」、郵便局）等の様々な機能を持った施設が連携し、総合的な拠点を形成。
- 住民自治組織（平屋振興会）が中心となって組織を包括し、行政の役割を担いながら地域への貢献を「道の駅」で実現。



道の駅「美山ふれあい広場」
京都府南丹市
人口 約32.7千人
面積 約616.3km²

行政サービスの実施

◇住民票や各証明の交付、保健・医療・年金の届出、移住希望者への土地や古民家の仲介等、相談窓口を開設。
(H27年度:約2,500人が利用)



福祉サービスの実施

◇高齢者のサークル活動やミニデイが、独居高齢者の安否確認や地域交流の場として機能。
(H27年度:約7,700人が利用)



住民サービスの実施

◇日用品・食料品を販売し、地域住民の生活を支援。



◇地域住民、特に高齢者の交通手段としてデマンドバスを運行。
(H27年度:876人が利用)



- 地域づくりの計画から運営まですべてにおいて住民主体を掲げ、地域コミュニティの形成に大きく寄与
- 診療所・図書館・認定こども園・行政窓口・「道の駅」の産直市等の地域振興施設の機能を集約することによりワンストップサービスを実現し、先進的な「小さな拠点」を形成
- 「道の駅」を中心としたデマンドバス等の運行や宅配・安否確認サービスの実施など高齢者に優しいサービスも提供



ワンストップサービスを実施するための施設・取組

- ◆住民から設置要望の高かった内科・歯科診療所
(内科利用者数は年間述べ10,017人・歯科利用者数は年間述べ3,122人)



- ◆若者世代の子ども子育て支援としての認定こども園 (園児数は55人)



- ◆地域コミュニティの中心として文化ホール・栄養改善室・調理実習室・研修室・創作活動室・音楽室・和室を設置

- ◆年末年始、蔵書点検4日以外は無休の図書館 (年間貸出数は約80,000冊)

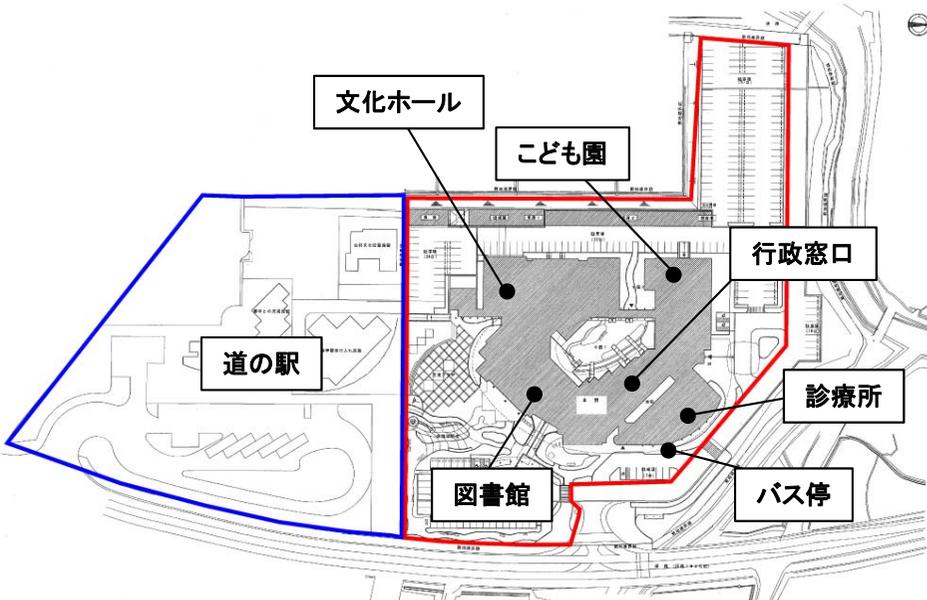


- ◆高齢者のために「道の駅」を中心に路線バス・デマンドバスを運行



- ◆行政の窓口として機能している哲西支局 (窓口取扱件数は3,082件)

- ◆「道の駅」が、学校給食配送・宅配サービス・高齢者の安否確認を実施



- 「道の駅」の収益を、「酒谷地区むらおこし推進協議会」に還元することにより、地域の自治活動や交流活動、雇用創出の拠点として「小さな自治」を形成。
- 小中学生の学びの場、地域住民の交流の場として、郷土料理や伝統文化の継承など地域活性化に資する取組を実施。
- 高齢者の見守り活動も兼ねた弁当宅配・農作物の集荷代行等の住民サービスを実施。



地域活性化に資する取組

- ◇小中学生を対象に、郷土料理・特産品加工の体験学習を実施。
(年4回程度、23人/2校が参加)



- ◇コミュニティの場として、生涯・体験学習を実施。
(年15回程度、21人/回が参加)



住民サービスの実施

- ◇地域の高齢者への弁当宅配、農作物の集荷代行等について、採算ラインに乗らない少人数でも、地域福祉サービスとして提供。



- ◇地域高齢者によるスポーツ大会
(昼食支援)(年4回、95人が参加)

